

.....

館園名 : 大牟田市石炭産業科学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1995 年 07 月 22 日

所在地

・ 〒 836 - 0037 福岡県大牟田市岬町 6-23

公式サイト

・ <http://www.sekitan-omuta.jp/>

設立主体

・ 大牟田市

運営主体

・ 大牟田市石炭科学教育普及協会

設立目的

・ 石炭産業等に関する調査研究、資料の収集、展示、公開等の事業を行い、以って地域文化の向上に寄与すると共に地域の振興を図る。

展示概要

・ 石炭と大牟田の歴史に関する資料などを展示。

活動概要

・ 石炭に関する常設展示のほか、エネルギーや環境問題、リサイクルなどのテーマを設けた企画展示。エネルギー体験学習、イベントの開催、「こえの博物館」での映像上映など。石炭産業に関する調査・研究。研修室、図書室、屋外展示もあり。

延床面積

・ 3,242 m²

全職員数（常勤職員）

・ 6 名（ 2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 55,000,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 不明 点（ 年 月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：石炭館ボランティア

活動目的・経緯

- ・石炭館内の解説ボランティアを行うため。
- ・平成 15 年度に、大牟田市教育委員会が石炭に関するボランティア研修会を企画。参加に対し、石炭館ボランティアの希望を募った。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 12 名（ 2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 7 名、女性： 5 名
- ・ 平均年齢 62 歳：男性 65 歳、女性 57 歳

ボランティア担当職員（ 2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1 名・その他（非常勤） 1 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 館内解説。
- ・ 石炭学習会参加（自己研修）。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

・

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ NPO 法人と連携した観光客の受け入れ（市内現地説明・・・NPO、館内説明・・・ボランティア）。
- ・ 石炭館企画展内容についての協力（NPO、サークル）。

活動個別シート① 活動名：館内解説

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 12 名（ 2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 常設展示室内の解説、入館者の誘導・案内。

◇活動日

- ・ 不定期（団体予約日など）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ なし。

◇運営（シフト 等）

- ・ なし。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ なし。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 2003 年 10 月に市のボランティア講座参加者に呼びかけ、2004 年度に入り、再度活動希望を確認。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 石炭学習会、月一回、当館名誉館長が講師を務める。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・ 館にとっては団体等の対欧がスムーズとなり、ボランティアの方にとっては生涯学習と生きがい作り、社会貢献の一つになっているのではないかと。

◇課題と展望

- ・ 運営方法などをまとめていきたい。

◇その他

- ・

.....
館園名 : 北九州市立自然史・歴史博物館 (いのちのたび博物館)

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 2002年11月03日

所在地

- ・ 〒805-0071 福岡県北九州市八幡東区東田2-4-1

公式サイト

- ・ <http://www.kmnh.jp>

設立主体

- ・ 北九州市

運営主体

- ・ 北九州市

設立目的

- ・ すでにあった自然史、歴史、考古の3博物館を統合し、自然と人間の関わりをテーマに、市民の知的ニーズに応え、子どもから大人まで参加、交流できる場を提供する。

展示概要

- ・ 「アーススモール」「自然発見館」「テーマ館」などの大展示コーナーと、「ポケットミュージアム」の小展示ブースに分かれる。順路を設けず、入館者の興味や目的に応じて、どこからでも観覧できるようになっている。
- ・ 「アーススモール」: 100mの回廊に、古生代から現代に至る骨格標本を展示し、生命の進化の過程が一望できる。
- ・ 「エンバイラマ館」: 国内最大規模のジオラマで、1億2千万年前の北九州を再現し、中を歩きながら当時を体験できる。

活動概要

- ・ 資料展示。
- ・ 普及講座を開催。

延床面積

- ・ 16,948 m²

全職員数

- ・ 29名

年間運営費

・

総資料点数

- ・ 209,100点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：いのちのたび博物館シーダー

活動目的・経緯

- ・ 2004年4月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 28名（2004年）
- ・ 男性：14名、女性：14名（2004年）
- ・ 平均年齢58.6歳：男性59歳、女性58.2歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：博物館普及課 担当人数：常勤1名・その他（ ）名

活動の種類

- ・ ①展示品の解説、②普及講座補助、③イベント補助。

活動その他

- ・ 16年度は月曜を除く毎日（イベント期間中は月曜日も活動）。
- ・ 毎日1～4名程度が活動。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①展示品の解説

◇活動開始年

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 28 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 館内を巡回し、随時解説を行う。

◇活動日

- ・ 月曜を除く毎日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ユニフォームあり。
- ・ ボランティア室あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 本人の活動希望日にもとづく。
- ・ 1 回、3 時間。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 当館の主催するボランティア養成講座終了者のうち、希望する者。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成講座について
内容：等博物館の展示物解説、講師：等博物館の学芸員
- ・ その他、接遇研修、人権研修等あり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ②普及講座補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 28 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 団体むけレプリカ作り等の体験講座の補助。
- ・ 館の主催する一般むけの講座のスタッフ。

◇活動日

- ・ 講座開催時に、随時活動。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ユニフォームあり。
- ・ ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 本人の希望により参加。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 当館の主催するボランティア養成講座終了者のうち、希望する者。
- ・ 開催日を事前に周知させておき、希望者が直接参加し、補助等を行う。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 養成講座について
内容：等博物館の展示物解説、講師：等博物館の学芸員
- ・ その他、接遇研修、人権研修等あり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

活動個別シート ③イベント補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 28 名（2004 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 特別展における展示品監視、解説。
- ・ 学校長期休暇中の土日祝日等における体験イベントの指導等。

◇活動日

- ・ 特別展開催期間中、学校休暇期間中等。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ユニフォームあり。
- ・ ボランティア室あり。

◇運営（シフト 等）

- ・ 期間中、午前・午後、各 1 名。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 当館の主催するボランティア養成講座終了者のうち、希望する者。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 養成講座について
内容：等博物館の展示物解説、講師：等博物館の学芸員
- ・ その他、接遇研修、人権研修等あり。
- ・ 学芸員やイベント担当者による説明会を開催。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

・

◇その他

・

.....

館園名 : 北九州市立児童文化科学館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1955年10月11日

所在地

・ 〒805-0068 福岡県北九州市八幡東区桃園3丁目1-5

公式サイト

・ http://www.city.kitakyushu.jp/%7Ek7904200/index_2.html

設立主体

・ 北九州市

運営主体

・ 北九州市

設立目的

- ・ 幼児および小・中学校の児童・生徒に対して、児童文化の向上及び科学教育の振興を図る。
- ・ 各プログラムを通じて情操のかん養、生活指導、子どもの自発的活動を促し、心身ともに健全な青少年を育成する。

展示概要

- ・ 基礎科学展示室、応用科学展示室、天文科学展示室からなり①科学の基礎を理解したりその応用について考える。②宇宙について興味・関心を深め、それを正しく理解する。③宇宙に対する人間の働きかけについて学ぶ。④かけがえのない地球を大切にすることを培う。⑤プラネタリウムと展示品の相互の関連について理解する。の5つをねらいとして展示を行っている。

活動概要

- ・ 最先端の科学に焦点をあてた特別展を開催。
- ・ プラネタリウム番組に合わせた特別展を開催。

延床面積

・ 5,471 m²

全職員数（常勤職員）

・ 13名（平成16年12月現在）

年間運営費

・ 44,853,000円（2003年度）

総資料点数

・ 69点（平成16年12月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：児童文化科学館ボランティア

活動目的・経緯

- ・学校週 5 日制の施行に伴い、科学館において各種教室を多数実施するに当たり、子どもの安全を講師と館職員だけでは十分確保できない状況であったため、近隣の大学や高等学校に呼びかけ、ボランティアとして活動していただくようになった。また、天文に興味を持つ方々が、館の観望会を手伝ってくれるようになり、天文関係のボランティアとして活動している。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 125 名（平成 16 年 12 月現在）
- ・ 男性：71 名、女性：54 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（平成 16 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 2 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 科学ものづくり。
- ・ 天文。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館主催行事の手伝いとどまらず、ボランティア主体で「いかだ教室」を計画・実施したり、休みの日を利用して、紙飛行機作りを子どもに教えたり、木のおもちゃで遊ばせたりといった活動を主体的に行っている。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①科学・ものづくり

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 109 名（平成 16 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 科学・ものづくり事業で行う各種教室の補助。
- ・ 年 3 回行う科学まつり、「サイエンスキッズ」のブースを担当する。

◇活動日

- ・ 教室や、サイエンスキッズの開催日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ 館が提示する年間活動予定表に、活動できる日を記入。それに従って活動している。

◇交流（情報、組織 等）

・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年 2 月から市政だより等で募集するとともに、近隣の大学・高等学校にも声をかけている。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 4 月にボランティア説明会を行い、安全についての研修を行っている。
- ・ サイエンスキッズの前に事前準備並びに研修を行っている。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険又は各種教室の保険に加入している。
- ・ 交通費の一部を補助している。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 展示品の解説をしたり、主体的な活動を増やしていくために、ボランティア活動を主体的に進める組織作りを行う必要がある。

◇その他

・

活動個別シート 活動名：②天文

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2000 年

◇活動人数

- ・ 16 名（平成 16 年 12 月現在）

◇活動内容

- ・ 観望会の運営補助。
- ・ 出張観望会への派遣。

◇活動日

- ・ 観望会実施日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 観望会の 1 週間前に予定を送り、出欠確認を行うようにしている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 観望会前に時間をとって事前研修を行う

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している。
- ・ 交通費の一部を補助している。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 天文行事は夜開催することが多く、主体的な活動に発展しにくい。

◇その他

- ・

.....
館園名 : 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館 みちの郷土資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 2001年01月01日

所在地

- ・ 〒807-1261 福岡県北九州市八幡西区木屋瀬三丁目16-26

公式サイト

- ・ <http://www.city.kitakyushu.jp/~k7904180>

設立主体

- ・ 北九州市

運営主体

- ・ 北九州市立長崎街道木屋宿記念館

設立目的

- ・ 木屋瀬に伝わる歴史資料の保存や研究の充実を図るため設置。

展示概要

- ・ 歴史への旅体験をテーマとして、各種の資料を展示している。江戸時代から明治・大正・昭和にわたって、街道と宿場、当時の暮らし、炭鉱、木屋瀬に密着した文化を体験しながら見ることができる。

活動概要

- ・ 主に街道に焦点を当てた年4回の企画展の開催。
- ・ 町並み案内ボランティア養成講座の開催。
- ・ 広報紙『寄せ太鼓』の発行。

延床面積

- ・ 950㎡

全職員数（常勤職員）

- ・ 3名（2005年01月現在）

年間運営費

- ・ 約33,300,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 994点（2005年01月現在） ※ただし図書資料を除く。

施設その他

- ・ 北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館は、「みちの郷土資料館」と多目的ホール「こやのせ座」の主に2棟から構成される。
- ・ 管理業務の一部を北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会に委託している。

2. ボランティア活動 名称：木屋瀬みちの郷土史料保存会、 木屋瀬宿まちなみ案内ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 木屋瀬みちの郷土資料保存会は、昭和 43 年の北九州市立木屋瀬郷土資料館の開館に備え、準備段階の昭和 42 年に結成された「木屋瀬郷土資料保存会」が、平成 13 年の北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館開館に伴い、改組・名称変更し、現在に至る。北九州市立長崎街道木屋瀬記念館運営協議会の一構成団体である。みちの郷土史料館来館者への展示解説、企画展の企画立案、木屋瀬に伝わる歴史資料の収集・保存等を活動の柱としている。
- ・ 江戸時代の宿場町の面影を残す木屋瀬の町並み案内を長年請け負ってきたのは「木屋瀬みちの郷土史料保存会」であったが、来訪者の増加や構成員の高齢化に伴い、新たに「木屋瀬宿まちなみ案内ボランティア」として人員を募集し、平成 16 年 01 月に発足させた。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 37 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性：24 名、女性：13 名
- ・ 平均年齢 66 歳：男性 72.1 歳、女性 59.8 歳

ボランティア担当職員（2005 年 01 月現在）

- ・ 部局名称：教育委員会生涯学習部長崎街道木屋瀬記念館
- ・ 担当人数：常勤 1 名・その他（運営協議会職員）4 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 木屋瀬みちの郷土資料保存会は、①展示説明、②企画展の企画立案、③資料の収集・保存を行う。
- ・ 木屋瀬宿まちなみ案内ボランティアは、④木屋瀬宿の町並み案内を行う

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 木屋瀬宿や長崎街道全般に関する勉強会（月一度）の実施。
- ・ 年に一度、総会を行う。
- ・ 保存会は、平成 15 年 9 月、内閣府、内閣官房長官に社会参加章の表彰を受ける。

関連する出版物

- ・ 広報紙『寄せ太鼓』（季刊）

関連するHP

北九州市立長崎街道木屋瀬記念館 HP

- ・ <http://www.city.kitakyushu.jp/^k7904180/>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①展示解説（郷土史料保存会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 18 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性：12 名、女性：6 名 平均年齢 71.3 歳：男性 74.6 歳、女性 64.6 歳

◇活動内容

- ・ みちの郷土史料館来館者に対する常設展・企画の館内案内を行なう。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動（休館日を除く）。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 敷地内にボランティア棟を併設

◇運営（シフト 等）

- ・ 1 日 1 名。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月に一度、木屋瀬宿及び長崎街道全般に関する勉強会を自主的に実施。
- ・ 年に二度総会を開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 随時。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 月に一度、木屋瀬宿及び長崎街道全般に関する勉強会を自主的に実施。
- ・ 年に二度の研修旅行。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している。（費用は運営協議会が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 構成員の高齢化。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：②企画展の企画立案（郷土史料保存会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 5名（2005年01月現在）

◇活動内容

- ・ みちの郷土史料館企画展の立案を行ない、運営協議会郷土史料館運営部の企画会議に挙げる。

◇活動日

- ・ 毎年度末。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 敷地内にボランティア棟を併設。

◇運営（シフト 等）

- ・ 企画委員5名。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 会長が総会で会員の中から選任。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している。（費用は運営協議会が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 構成員の高齢化。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：③資料の収集・保存（郷土史料保存会）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 18名（2005年01月現在）

◇活動内容

- ・ 学芸員とともに、木屋瀬に伝わる歴史資料の収集・保存を行なう。

◇活動日

- ・ 適宜。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 敷地内にボランティア棟を併設。

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 月に一度、木屋瀬宿及び長崎街道全般に関する勉強会を自主的に実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 会長が総会で会員の中から選任。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 月に一度、木屋瀬宿及び長崎街道全般に関する勉強会を自主的に実施。
- ・ 年に二度の研修旅行。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している。（費用は運営協議会が負担）。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 構成員の高齢化。

◇その他

- ・

活動個別シート 活動名：④木屋瀬宿の町並み案内（まちなみ案内ボランティア）

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2004 年

◇活動人数

- ・ 19 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性：12 名、女性：7 名 平均年齢 64.2 歳：男性 69.6 歳、女性 55 歳

◇活動内容

- ・ 来訪者に対し、木屋瀬宿の町並みを案内する。

◇活動日

- ・ 案内の申し込みがあった場合。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 敷地内にボランティア棟を併設。
- ・ 名札・腕章。ハンドマイク貸与。

◇運営（シフト 等）

- ・ 申し込み一団体に対して 2 名程度。団体の規模によるが、見学者 10 名につき案内者 1 名を目安にしている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 木屋瀬宿や長崎街道全般に関する勉強会の実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 毎年秋に運営協議会が主催する歴史講座（全 8 回）の修了者の中から、希望者を募る。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入している。（費用は運営協議会が負担）。

◇評価

- ・ 発足して日が浅いため、細部が固まっていない。

◇課題と展望

- ・

◇その他

- ・

.....

館園名 : 北九州市立美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1974年11月03日

所在地

- ・ 〒804-0024 福岡県北九州市戸畑区西鞆ヶ谷 21-1

公式サイト

- ・ <http://www.kmma.jp>

設立主体

- ・ 北九州市

運営主体

- ・ 北九州市

設立目的

・

展示概要

- ・ 収蔵作品 6746点：洋画 776点（ドガ、モネなど）、日本画 94点（東山魁夷など）、彫刻 86点、水彩・素描 1,200点、版画 4,289点、その他 301点。

活動概要

- ・ 企画展、美術講演会・講座、コンサートを開催。
- ・ 展覧会図録、年報、広報誌「美術の森」を出版。
- ・ 友の会活動を実施。

延床面積

- ・ 7,864㎡（本館） 2,800㎡（アネックス）

全職員数

・

年間運営費

・

総資料点数

・

その他

- ・ 1日2回、常設会場の展示作品を中心に、美術ボランティアが作品解説などのガイダンスを行っている。

2. ボランティア活動 名称：

活動目的・経緯

- ・ 1974年11月、市民生活に密着したリビングミュージアムとしての機能を実施する重要な機関として、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 100名（2004年）
- ・ 男性：7名、女性：93名（2004年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示解説、②鑑賞企画の実施、③美術記事の整理、④所蔵作品についての研究。

活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）（10：00～12：00、13：20～15：20、木曜日の午後は休み）。
- ・ 館により運営。
- ・ 月に1～2回、作品解説を行う。
- ・ 週1回、勉強会で集合する。
- ・ 不定期に一般公募。
- ・ 定年制、任期制なし。
- ・ 館外研修として、他の美術館見学などを実施（館が費用の一部を負担）。
- ・ ボランティア自身の勉強に、かなりの時間をかけている。
- ・ 保険に加入している。
- ・ ボランティアの自主的な活動をもっと取り入れて、活動の幅を広げたい。
- ・ 講座活動が、学芸員の負担になっており、毎年養成講座を開設することができない。
- ・ ボランティアの高齢化と減少が著しく、ボランティア1人あたりの仕事量が増え、負担となっている。
- ・ 子どもたちや市内中学生の美術観賞用テキスト「ワークシート」作りを計画している。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

.....
館園名 : 九州歴史資料館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1973年 02月 24日

所在地

・ 〒818-0061 福岡県太宰府市石坂 4-7-1

公式サイト

・ <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/index.htm>

設立主体

・ 福岡県

運営主体

・ 福岡県教育委員会

設立目的

・ 歴史資料の収集、保管、調査および研究を行うとともに、併せてこれを展示し、もって文化財の保護と文化財愛護思想の普及に資する。

展示概要

・ 太宰府史跡をはじめとする福岡県内出土考古資料、美術工芸資料、古文書等を展示している。

活動概要

・ 古くから中国大陸、朝鮮半島など海外との交流の窓口としての役割をもった九州の歴史を明らかにするために、大宰府史跡の発掘調査・研究と古文書、美術工芸品、考古資料等の収集・保管及び調査を行い、併せてその成果を一般に展示・公開している。

延床面積

・ 4,500 m²

全職員数（常勤職員）

・ 17名（2004年 12月現在）

年間運営費

・ 70,470,000円（2003年度）

総資料点数

・ 11,485点（2004年 5月現在） 考古資料 11,209点 歴史資料 276点

施設その他

・ 施設の老朽化と所在地が九州国立博物館敷地内にかかっているため、移転・再整備を計画中である。

2. ボランティア活動 名称：九州歴史資料館解説ボランティア「つばき会」

活動目的・経緯

- ・平成 8・9 年度に行われた福岡県高齢者リーダー養成大学地域文化推進アドバイザー養成講座修了生が学習ボランティア「つばき会」を結成。九州歴史資料館における活動目的は、自発的なボランティア活動として、九州歴史資料館職員と連携して、来館者等から求められる要望に応え、広く一般市民に対して文化財愛護思想の普及を目指すとともに、活動を通じて、歴史や文化に対する理解を深め、自己開発、自己実現につなげることである。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 10 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性：9 名、女性：1 名
- ・ 平均年齢 75 歳：男性 歳、女性 歳

ボランティア担当職員（2004 年 12 月現在）

- ・ 部局名称：なし。各課からの代表職員によって構成される委員会によって担当する。
- ・ 担当人数：常勤職員 5 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 一般来館者及び社会教育団体等を対象とした資料館展示室における列品解説。
- ・ 学校教育等の利用に伴う対応の補助。
- ・ その他館主催事業における業務補助。
- ・ 上記、活動を行うにあたっての研修等への参加。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 会長、事務局長各 1 名をおいて、自律的に活動している。

関連する出版物

- ・ なし

関連するHP

- ・ [http:// www.fsg.pref.fukuoka. jp/kyureki/index. htm](http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/index.htm)

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：①展示解説、学校利用補助、館主催事業の補助

◇活動開始年（西暦）

- ・2000年

◇活動人数

- ・10名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・常設展、特別展、テーマ展示等の解説を行う。学校教育利用への対応補助（学習内容に即した展示解説、児童・生徒からの質問対応など）。一般市民向け講座の際の受付や駐車場整理など。

◇活動日

- ・毎週火曜日～金曜日。館主催行事は随時。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・予算なし。資料館休養室をボランティア控室としている。

◇運営（シフト 等）

- ・1日2～3名が交代で解説している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・毎月1回連絡会議を開催。毎日、その日の業務を日誌で館に報告。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・新規の募集は現在、行っていない。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・職員による養成講座を8回開催。常設展示替え、特別展、テーマ展示等に伴う研修、随時。2ヶ月に1度、福岡県の歴史と文化財、ボランティアのあり方などに関する研修（主に講義）を実施。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・特になし。

◇評価

- ・特になし。

◇課題と展望

- ・ボランティアの高齢化と人数の減少に悩んでいる。資料館として独自に新たなボランティア募集と養成を行うことを検討している。

◇その他

- ・平成15年度の入館者数23,320人のうち、希望があった450組3478名に解説を行った。

館園名 : 田川市石炭資料館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1983年03月01日

所在地

- ・ 〒825-0002 福岡県田川市大字伊田 2734-1 石炭記念公園内

公式サイト

- ・ <http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/sekitan/>

設立主体

- ・ 田川市

運営主体

- ・ 田川市

設立目的

- ・ 石炭産業を中心とした田川の歴史を保管するため。

展示概要

- ・ 第1室：石炭のなりたち、採掘方法、炭鉱の歴史を展示。
- ・ 第2室：炭鉱の生活の中から生まれた絵画や文学作品などを展示。
- ・ 第3室：田川地方の歴史と民俗をテーマに、郷土の歴史資料（考古から近世）を展示。
- ・ 屋外展示場：炭鉱節に歌われた2本煙突、採炭・掘進・運搬に使用された大型機械類を展示。

活動概要

- ・ 炭鉱資料や歴史・民俗・考古資料を収集・保管・展示。
- ・ 企画展、親子体験学習、文化財探訪、歴史講座などを実施。
- ・ 年報、石炭資料館だよりを発行。

延床面積

- ・ 1,987.64 m²

全職員数

- ・ 7名（臨時職員等を含む）

年間運営費

- ・ 約25,000千円

総資料点数

- ・ 約16,000点

その他

- ・ 1996年4月、隣接地に産業ふれあい館（炭鉱住宅復元）を開館。

2. ボランティア活動 名称：田川地域文化財ボランティアの会

活動目的・経緯

- ・ 2000 年度、田川地域における文化財関連事業の補助を目的として、新聞で募集。
- ・ 2001 年度に養成講座を実施、20 名のボランティアが誕生。現在に至るまで、田川地域の各資料館における展示補助や、文化財関連イベントのスタッフなどで活躍している。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 20 名（2003 年）
- ・ 男性：15 名、女性：5 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 64 歳：男性 68 歳、女性 58 歳（2004 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局： 担当人数：常勤 名・その他（ ） 名
（※田川市郡の文化財担当者が担当。）

活動の種類

- ・ ①館活動・文化財関連行事の補助。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①館活動・文化財関連行事の補助

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 20 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 田川市郡教育委員会の文化財担当者の指導と助言を得て、一市町村の枠にとどまらず、資料館活動、文化財関連行事の補助を行う。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 活動の場として、要請があれば資料館のスペースを提供している。

◇運営（シフト 等）

- ・ 会長 1 名、会計・監査を置き、年に 1 度総会を行っている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 適時集っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 再募集の方法については検討中。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 各市町村の文化財担当者が、必要に応じて随時研修を行う。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 必要に応じて、館への無料入館可。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動やメンバーが固定化しているため、新しい展開を検討する必要がある。

◇その他

- ・ ボランティアと共同して企画するミニ企画展を計画中（市民の館活動への参加、生涯学習の場などを目的に）。

.....

館園名 : 大宰府展示館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1980年10月06日

所在地

- ・ 〒818-0101 福岡県太宰府市観世音寺4-6-1

公式サイト

・

設立主体

- ・ 太宰府市

運営主体

- ・ 財団法人古都大宰府保存協会

設立目的

・

展示概要

- ・ 発掘調査によって検出した奈良時代の玉石溝の一部を覆い保存している。
- ・ ビデオやパネルジオラマ、発掘された遺物などで古都大宰府を紹介。

活動概要

- ・ 特別展を開催。
- ・ 大宰府を訪れる人に史跡に対する理解を求める目的で、案内ガイドを実施。

延床面積

- ・ 356 m²

全職員数

- ・ 7名

年間運営費

- ・ 3,100千円

総資料点数

- ・ 約160点 (パネルも含めた展示資料数)

その他

・

2. ボランティア活動 名称：大宰府史跡解説員

活動目的・経緯

- ・ 1983年・84年度に開催した大宰府アカデミー講座終了後、大宰府史跡解説員の制度を発足させ、以来観光客、学校等の依頼により、史跡解説を行っている。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 33名（2004年）
- ・ 男性：21名、女性：12名（2004年）
- ・ 平均年齢74歳：男性 歳、女性61歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：史跡保存 担当人数：常勤1名 ・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①史跡の解説。

活動その他

・

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①史跡の解説

◇活動開始年

- ・ 1980 年

◇活動人数

- ・ 33 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 太宰府市内の史跡案内と大宰府展示館の展示解説。

◇活動日

- ・ 依頼に応じて随時活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 保存協会から補助あり。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 曜日ごとに、1 日 2 名程度大宰府展示館に待機。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 1 度、解説員の任意グループ (くすのき会) の例会を実施。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 2004 年度は、50 名募集。任期 2 年。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 職員と外部講師による養成講座 (12 回) を実施。
- ・ 日帰り研修、宿泊研修、各 1 回実施 (講師は現地の方)。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 解説依頼者から、交通費として千円を負担して頂く。
- ・ 全員ボランティア保険に加入 (費用は協会が負担)。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 九州国立博物館の開館に向けた市民ベースのボランティア制度の導入を検討中。

◇その他

- ・ 解説以外のボランティアのあり方、養成制度・再訓練のあり方について、他館の事例を知りたい。

.....

館園名 : 福岡アジア美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1999年03月06日

所在地

- ・ 〒812-0027 福岡県福岡市博多区下川端町3-1

公式サイト

- ・ <http://faam.city.fukuoka.jp>

設立主体

- ・ 福岡市

運営主体

- ・ 福岡市

設立目的

- ・ 福岡市美術館のアジア近現代美術関連の先駆的な活動を引き継ぎ、さらに拡充することを目的に設立。
- ・ 脱欧米中心主義の視点から、従来の「美術」や「美術館」の枠組みにとらわれない活動を目指す。

展示概要

- ・ 東アジア、東南アジア、南西アジアの近代美術の黎明期から今日までの包括的なコレクションとしては、質量揃った世界有数のコレクションを有する。
- ・ 西洋の大きな影響のもとに展開された近代美術の流れを示す作品群や、豊富なアジアの現代美術のほか、近代化の過程で「美術でないもの」として否定され忘れ去られたものや、美術館の外側で日常に生きる民衆の表現などを収集展示することで、多元的なアジアの近代美術像を描き出し、従来の美術の価値体系の見直しを図る。

活動概要

- ・ 3年ごとに開催する「福岡トリエンナーレ」を中心に、アジア美術の多様な魅力を紹介する。
- ・ アジアからの滞在作家との交流事業、調査研究事業、人材育成・支援、地域交流、教育普及事業などを実施。
- ・ 展示図録を出版。

延床面積

- ・ 9,101.05 m²

全職員数

- ・ 19名

年間運営費

- ・ 454,601千円（2004年度）

総資料点数

- ・ 1,715点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：福岡アジア美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 1999年3月、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 252名（2004年）
- ・ 男性：18名、女性：234名（2004年）
- ・ 平均年齢51.5歳：男性64.8歳、女性50.5歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課交流係 担当人数：常勤2名・その他（嘱託）1名

活動の種類

- ・ ①図書資料ボランティア、②学芸資料ボランティア、③情報ネットボランティア、④案内解説ボランティア、⑤ボランティア通信ボランティア、⑥ボランティア催事ボランティア、⑦交流ボランティア、⑧広報ボランティア。

活動その他

- ・ 館により運営。
- ・ ボランティア室がある。
- ・ ボランティアミーティングを実施。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①図書資料ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 45 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 資料整理、配架を行う。

◇活動日

- ・ 開館日に月 2 日以上。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 図書室で活動。

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 開館時に募集を行った。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が研修を実施。
- ・ 司書が随時指導。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活発に活動している人と、そうでない人との偏りがある。

◇その他

- ・

活動個別シート ②学芸資料ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 24 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 学芸関連資料の整理、新聞のスクラップ。

◇活動日

- ・ 月 2 日以上。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 資料カード室で活動。

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 開館時に募集を行った。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活発に活動している人と、そうでない人との偏りがある。

◇その他

- ・

活動個別シート ③情報ネットボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 40 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 郵送印刷物の整理。
- ・ ボランティアメール (メールアドレスを持つボランティアへの情報配信) の管理。

◇活動日

- ・ 第 1・第 3 木曜日、第 2・第 4 土曜日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室で活動。

◇運営 (シフト 等)

・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 開館時に募集を行った。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 活発に活動している人と、そうでない人との偏りがある。

◇その他

・

活動個別シート ④案内解説ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999年

◇活動人数

- ・ 48名(2004年)

◇活動内容

- ・ 作品・施設の案内。

◇活動日

- ・ 毎日活動(休館日を除く)。13:00～16:00。
- ・ 団体見学時に、随時対応。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ アジアギャラリーで活動。

◇運営(シフト 等)

- ・ 毎日2人ずつ担当。
- ・ 団体見学の人数により、随時対応。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 月1回ミーティングを開催。
- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 開館時に募集を行った。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 学芸員が、ギャラリー解説の研修を実施。
- ・ 実地勉強会を実施。美術講座に参加。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活発に活動している人と、そうでない人との偏りがある。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑤ボランティア通信ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 12 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ ボランティア向け印刷物の制作。

◇活動日

- ・ 月 1 度、ミーティングを実施。
- ・ 通信の作成に応じて随時活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア室で活動。

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 1 度、ミーティングを実施。
- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 開館時に募集を行った。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活発に活動している人と、そうでない人との偏りがある。
- ・ 一部の人に負担が多くかかってしまい、定期的な発行が難しい。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑥ボランティア催事ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999年

◇活動人数

- ・ 13名(2004年)

◇活動内容

- ・ ボランティアイベント(研修)を主催。

◇活動日

- ・ イベントに応じて、不定期。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・

◇交流(情報、組織 等)

- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 開館時に募集を行った。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ 館が研修を実施。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活発に活動している人と、そうでない人との偏りがある。
- ・ 活動が不定期なため、日程が合わない人は全く活動ができない。一部の人のみに、負担が大きくかかる。

◇その他

- ・

活動個別シート ⑦交流ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 144 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ レジデンス事業のサポート。
- ・ 市民交流イベントのサポート。

◇活動日

- ・ レジデンス期間中、およびイベント開催時に活動。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 開館時に募集を行った。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 活発に活動している人と、そうでない人との偏りがある。
- ・ レジデンスの内容によっては、ボランティアのサポートを必要としない場合もある。

◇その他

・

活動個別シート ⑧広報ボランティア

◇活動開始年

- ・ 1999 年

◇活動人数

- ・ 41 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 広報誌、ポスター、チラシ等の発送。

◇活動日

- ・ 年 4 回、および展覧会準備時。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ ボランティア通信を発行。
- ・ 連絡ノートを作成。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 開館時に募集を行った。
- ・ 定年制、任期制なし。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 館が研修を実施。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活発に活動している人と、そうでない人との偏りがある。
- ・ 活動頻度が少ない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 福岡県青少年科学館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1990年05月01日

所在地

- ・ 〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町1713 中央公園内

公式サイト

- ・ <http://www.science.pref.fukuoka.jp>

設立主体

- ・ 福岡県教育文化奨学財団

運営主体

- ・ 福岡県教育文化奨学財団

設立目的

- ・ 青少年の科学への関心を高め、豊かな知性と創造性に満ちた人材を育成することを目的として、また県民の生涯学習を援助する場として建設。

展示概要

- ・ 展示テーマ「地球」：太陽系で唯一生命体の存する惑星「地球」を再認識し、地球上の様々な現象や生命体の仕組み、また先人が築いた現代科学への軌跡、その成果である先端技術を目で見、手で触れ、動かすことによって、科学への関心を高め、自ら学ぶことへ発展させることを狙いとしている。

活動概要

- ・ 展示活動
 - ア 科学の基本原理とその応用及び最新の科学技術に関する資料を実物、模型、実験等を用いて常設展示する。
 - イ 常設展示ほか、調査研究に基づく自主企画展開催するとともに、必要に応じて特定テーマに即した特別展を開催する。
- ・ 教育普及活動
 - ア 科学に関する図書、文献、調査研究等を収集整理して利用に供するとともにレファレンスサービス等を行う。
 - イ 利用者に対し、必要に応じて展示の解説サービス等を行うとともに、学校利用に関して専門的・技術的な指導助言を行う。
 - ウ 科学の関する各種の講座や講習会等を開催するとともに、青少年に対して、実験、実習、創作、観測等の学習の機会と場を提供する。
 - エ 県内の学校、博物館、図書館、公民館に対し、資料の貸し出しを行うとともに必要に応じて館外巡回展示を行う。
- ・ 調査研究活動
 - ア 収蔵する資料について調査研究を行うとともに、利用者の調査研究活動に対し、専門的・技術的な指導・助言を行う。
 - イ 調査研究の成果を公表するとともに、資料目録・展示解説書等を作成し、広報活動を行う。

延床面積

- ・ 8,039.61 m²

全職員数

- ・ 32名（常勤17名 非常勤18名）

年間運営費

- ・

総資料点数

- ・ 約200点の展示

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：福岡県青少年科学館科学天文ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 科学館来館者に科学天文教育普及のために指導補助をすることを目的として、1990年に活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 100名（2005年5月25日現在）
- ・ 男性： 名、女性： 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：科学教育グループ 担当人数：常勤 2名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ チャレンジ教室の指導、サイエンス教室の指導補助、エンジニア工房の指導補助、企画展の紹介及び説明、市民天体観望会の指導。

活動その他

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1990 年

◇活動人数

- ・ 100 名（2005 年 5 月現在）

◇活動内容

- ・ チャレンジ教室の指導、サイエンス教室の指導補助、エンジニア工房の指導補助、企画展の紹介及び説明、市民天体観望会の指導。

◇活動日

- ・ チャレンジ教室の指導（毎週土曜日）。
- ・ サイエンス教室の指導補助・エンジニア工房の指導補助・市民天体観望会の指導は、月 1 回程度。
- ・ **企画展の紹介及び説明は企画展開催時期（年 2 回開催期間中）。**

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

◇運営（シフト 等）

- ・ サイエンス教室の指導補助・エンジニア工房の指導補助は 4 半期（3 ヶ月）ごとに割り振りを行う。

◇交流（情報、組織 等）

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 科学ボランティアは、研修講座（年 1 回実施）受講者を科学ボランティアに認定。
- ・ 天文ボランティアは、隔年実施。5 回程度の養成講座を実施しその受講者を原則、天文ボランティアと認定。
- ・ 科学ボランティアは毎年 1 回、天文ボランティアは隔年 1 回程度研修を実施。内容は、開催年に検討。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費（予め指定して期日のみ支給）。それ以外は支給しない。
- ・ ボランティア保険に加入（個人負担）。

◇評価

◇課題と展望

- ・ ボランティアとしての活動内容の充実。

◇その他

.....

館園名 : 福岡市美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

- ・ 1979年11月30日

所在地

- ・ 〒810 - 0051 福岡県福岡市中央区大濠公園 1-6

公式サイト

- ・ <http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

設立主体

- ・ 福岡市

運営主体

- ・ 福岡市

設立目的

- ・ 福岡市は輝かしい歴史と伝統にはぐくまれ、政治・経済・文化の上で西日本の中枢管理機能をはたす都市であり、また同時に国際交流を積極的に促進する接点の都市として、ますます飛躍的な発展の時期を迎えています。福岡市美術館はこのような都市機能を十分に踏まえ、市民の要望を満たしながら、今日の情報化社会の造形文化を推進する近代的な美術館をめざしています。

展示概要

- ・ 「古美術」: ①旧福岡藩主黒田家に代々伝えられた絵画、書、工芸。②松永コレクション(野々村仁清「色絵吉野山図茶壺」をはじめとする茶道具、書蹟、絵画、彫刻、漆器、陶磁器など)。③東光院旧蔵の重要文化財「薬師如来立像」をはじめとする藤原、鎌倉、南北朝時代の仏教美術品。
- ・ 「近現代美術」: ①サルヴァドール・ダリ「ポルト・リガトの聖母」など、広く国内外のモダンアートの流れを展望できる作品。②近代洋画史に先鞭をつけ、重要な役割を演じた黒田清輝、青木繁ほか、西日本出身作家の洋画。③郷土出身者の日本画。
- ・ 版画、素描、写真などの小作品を、毎月新しいテーマで展示。

活動概要

- ・ 美術の流れに敏感に呼応したタイムリーな企画展示を開催。

延床面積

- ・ 14,526 m²

全職員数（常勤職員）

- ・ 21人（正職員16人、うち学芸員は9人）

年間運営費

- ・ 629,331,000円（2003年度）

総資料点数

- ・ 13,633点（ 年 月現在）

施設その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：福岡市美術館ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 福岡市民の社会奉仕の意識および芸術に関する一般教養を高め、福岡市美術館のためのボランティア活動のため 1976 年に募集。
- ・ 1979 年開館と同時に活動開始。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 78 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 男性：0 名、女性：78 名（2005 年 01 月現在）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳 →不明

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：学芸課
- ・ 担当人数：常勤職員 3 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①ギャラリー・ガイド・ボランティア、②美術情報ボランティア。
②はさらに・新聞情報ボランティア・図書整理ボランティアにわかれる。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 毎日活動（休館日を除く）（10:30～16:30）。
- ・ 館により運営。各グループに担当学芸がつく。
（司書）
- ・ 年に 2 回の総会
- ・ 今年度新規ボランティアを募集。ガイドラインを作成。また、②に DM を整理する活動も加えた。別紙 2 募集要項参照。

関連する出版物

- ・ 年 2 回「ボランティア通信」

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート ①ギャラリー・ガイド・ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1985 年

◇活動人数

- ・ 35 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 個人及び団体来館者に対し、常設展示作品の解説を行う。

◇活動日

- ・ 休館日以外の毎日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 週に 1 度、曜日を決めて活動を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 2 回のボランティア総会。「ボランティア通信」の発行。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ これまで特に募集に関する規定はなかったが、2004 年にガイドライン作成。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 展示替えにともなう学芸員によるギャラリートーク。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険料。観覧料無料。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動形態を変更する予定。

◇その他

- ・

活動個別シート ②美術情報ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1979 年

◇活動人数

- ・ 43 名（2005 年 01 月現在）

◇活動内容

- ・ 館が収集するカタログ、図書、新聞などの分類整理を行う。

◇活動日

- ・ 新聞情報 金・日以外毎日。
- ・ 図書整理 火～土。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ ボランティア室。

◇運営（シフト 等）

- ・ 週に 1 度、曜日を決めて活動を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 新聞スクラップの中からおすすめ記事を集め、図書室に設置。
- ・ 月 1 回の共同作業日。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ これまで特に募集に関する規定はなかったが、2004 年にガイドライン作成。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 不定期に展覧会や美術関係のビデオ鑑賞さらに活動の指導を行う。講師は担当学芸や司書。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 保険料。観覧料無料。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ DMの整理活動を導入

◇その他

- ・